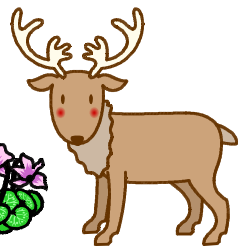
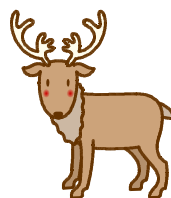


- 若年性軽度認知症・高次脳機能障害デイケア
(介護保険非適用)
- 地域学童保育
- ケアマネジメントセンター
- 土曜日プログラム

- 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業
ソーシャルスキルトレーニング
ペアレントトレーニング
- 茨城県自殺防止対策モデル事業
認知症介護相談事業

まどか * 円 * えん * 縁 * えにし * 縁 * えん * 円 * まどか

タイトル欄でもお気づきと思いますが、まどかの事業メニューが、いつの間にか増えてきました。関係各機関のご理解とご支援を賜り、少しずつ安心の和が広がりつつあることを実感しています。もともと法制度にとらわれないサービス展開を目指してきていますが、一人一人が持つ課題や悩みの重さや深さは一人一人別々です。私達は、当事者になり代わることは出来ないけれど、沈んだ気持ちや焦る心にできるだけ寄り添い、少しでも軽くすることが出来るのではないかと考えています。様々なニーズや目的を持つ人たちが立ち寄った後、力を蓄えて、それぞれの目標に向かって歩き出していくという、いわば地域における「ハブ空港」となれたら良いと考えています。様々な、ご助言・ご提案をお待ちしています。



ちかごろの まどか

新しいプログラムが始まりました。

独立行政法人福祉医療機構の社会福祉振興助成事業の認定をうけて、対人関係の苦手な幼児・児童に対する『ソーシャル・スキル・トレーニング (SST)』と、自分のこどもへの対応や子育て方法に悩む保護者に対する『ペアレント・トレーニング (PT)』を9月末から行っています。

SSTは、まどかの理事もお願いしている<認定心理カウンセラー>の武藤幸枝先生が講師で、3月まで6回のシリーズです。

主として「遊び」や「絵画・アート」の活動を通して、対人関係の基礎を自然に身につけていく内容となっています。

PTは、<臨床発達心理士>で、まどか正会員の藤沼りつ子先生が講師で、3月まで合計9回のシリーズとなっています。

こちらは、こどもの行動への適切な対応に悩んでいる保護者さんへ、毎回テーマを決めたロールプレイ(役を決めて行う模擬演技)やディスカッションを行うワークショップで、次の回まで家庭で実践してくる「宿題」も出されます。

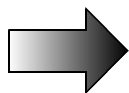
どちらのプログラムも、募集公表後すぐに定員に達してしまう人気で、県南部各地から、時間をかけてでも通ってこられています。

悩んでいる方が多い割には、提供されている資源が少ないことを物語っています。

来年度以降も、定番プログラムと出来るよう、スタッフも頑張っています。

詳しい内容は、ホームページをご覧ください。

こちらも
ご注目！



平成24年度も継続して認知症介護相談事業を行っています！！
悩みや負担感を遠慮なくお聞かせください。

専用電話 **029-867-5233**

若年性・軽度認知症デイケア（高次脳機能障害生活支援）

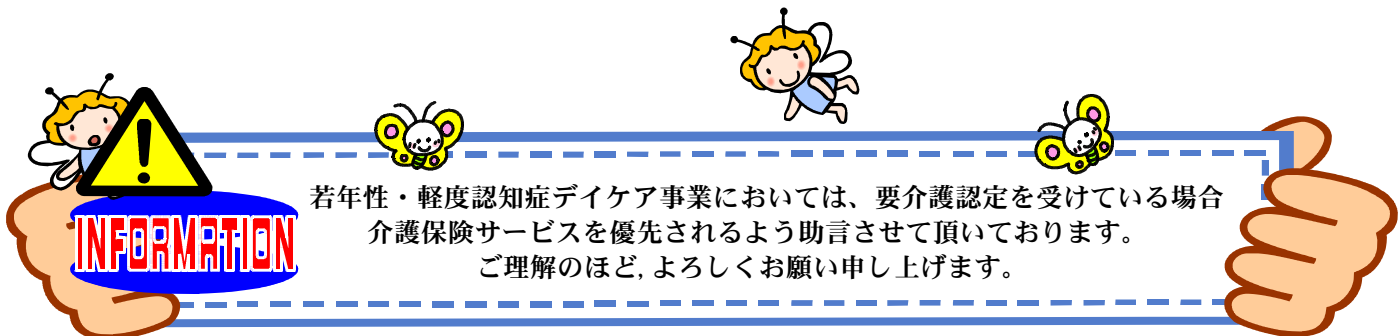
◆デイケア事業

実際の利用にまでは至っていませんが、最近、関西や東北という”超”遠方からの問い合わせを相次いでいただいています。

ホームページをご覧いただいたり、まどかの存在を「耳に」されたとかで、私達も驚くやら嬉しいやら。お問い合わせの内容を伺うと、介護保険施設におけるプログラムに疑問を持っている方や、バリエーションのひとつとして考えておきたいと言う方など、お問い合わせの理由は様々ですが、症状や介護や生活に不安があることにはかわりありません。

「若年性認知症」の患者さんが顕在化し、ある意味徐々に『市民権』を得てきている証でしょうか？それとも、患者数そのものが増えてきているのでしょうか？

どのような状況の方にも、適切に支援できるように、私達も日々研鑽を重ねていかなければならないと、心を新たに出来る出来事ではあります。



INFORMATION

若年性・軽度認知症デイケア事業においては、要介護認定を受けている場合介護保険サービスを優先されるよう助言させて頂いております。
ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

◆居宅生活支援事業も行っています・・・対象とする利用者の自宅を訪問しての支援◆

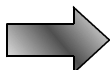
軽度認知症の方のご自宅に訪問し、話し相手・散歩・病院の付き添いなどいわゆる家事援助以外の支援を行い、利用者の「出不精」を緩和し、他人との交流のきっかけ作りを行います。

その他、様々な利用者のニーズに個別に対応しています。内容によって利用料が異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

〓 ボランティア 〓

まどかでは、いっしょに活動していただけるボランティアを常時募集しています。
ともに地域福祉を拡げていきませんか？

お問い合わせは



ホームページで！！



学童保育部門



まどかの子ども達は、相変わらず元気です。夏休み中の喧騒から一息ついて、レギュラーメンバーによる通常の保育を行っています。夏休みから継続してレギュラー入りした子も、どっぷり馴染んでいます。

来年以降の問い合わせもぼちぼち出始めて来ていますが、利用料金について、現状の赤字経営体質のままが良いのか、現在検討中です。

次回の総会の議題となると思われます。よろしくお願い致します。

◆就学後の特別支援学童保育も可能です

あらゆるニーズにお応えするのがまどかのコンセプト！制度で対応できない発達期の支援についてもお気軽にご相談ください。

ケアマネジメントセンター

専用電話 090-2228-6117

◆介護保険サービスを利用されたい方に、ケアプラン作成及びサービス事業所との連絡調整を行います。

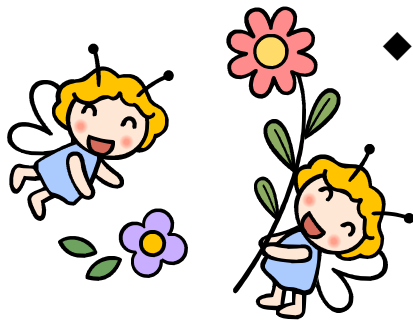
◆医療・福祉制度に関する相談をお受けし、利用可能な制度のご紹介や連絡調整を行います。

◎障害者自立支援制度

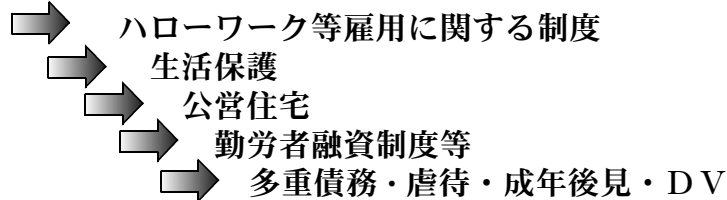
◎児童福祉・母子福祉・子育て支援・奨学金制度

◎精神保健・こころの相談

◎認知症高齢者在宅介護相談



◆失業・生活資金・住居等に関する相談をお受けし、関係機関のご紹介や連絡調整を行います



まどかサポーターのご案内

まどかのサポーター会員の方を募集しています。実際に住んでいる地域ではないにしても、活動に賛同して頂ける方は、是非仲間に加わってください。

正会員・・・年一回の総会で表決権一票を持ちます・・・・・・・・・・年会費 5千円

準会員・・・総会にて意見を申述できますが表決権は持ちません・・・年会費 3千円

★サポーター目標は100名です。開設後2年以上、100名で『認定NPO』になることができます。また、会費は寄付として確定申告の際、控除を受けることができます。



(24年11月 1日現在 正会員 43名 準会員 23名)



会員特典！ 茨城県の観光名所、袋田の滝の入口、目の前にある『菊池みやげ店』さんのご協力で、会員証ご提示の方に、飲食時に特別サービス品をご提供頂けます。

飲食しない方にも、おみやげ購入時にサービス品の提供が受けられます。

奥久慈に行かれた際は、是非お立ち寄りください。

スタッフ短信

まどか設立以来、スタッフとして活躍してくれていた、中根恵子さんが、家庭の事情で9月末に退職しました。主として、認知症の分野で活躍してくれていましたが、自分自身も子育て進行中の経験を発揮して、子ども分野でも貴重な戦力でした。今後は、資格を活かして、高齢者介護の分野に戻って活動するそうです。

中根恵子さんと入れ替わりに、瀧 公代さんが、スタッフとして活動し始めています。瀧さんは、もともとまどかの理事になって貰っていましたが、介護福祉士・介護支援専門員という資格と豊富な経験を、現場で発揮しない手はないと、ねばり強くお願いした結果、快諾をいただきました。理事兼現場スタッフとして、主に認知症介護分野で活動して貰う予定です。今後ともよろしくお願い致します。



HELLO

「土曜日プログラム」



土曜日プログラムが大盛況です。年間を通じてプログラムを行っていますので、是非、参加されてみてはいかがでしょうか？

12月以降の土曜日プログラム

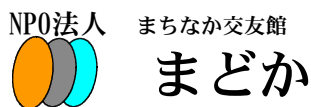
- ◎ 12月15日 10時～14時 つくばの新そば ソバ打ち体験教室
自分で打ったそばを、いろいろな食べ方で楽しめます。
指導：ソバ打ち職人 久松さん
(蕎麦粉の購入可)
- ◎ 1月19日 10時～12時 心理ワーク
講師 認定心理カウンセラー 武藤幸枝先生

*** 詳しくはホームページで 検索! ***

*** ゆめのあとさき ～編集後記～ ***

認知症の介護や、子育ての悩みに対するアドバイスの重要な部分は「多くの情報に惑わされない」ことです。それでも、当事者は少しでも多くの情報が欲しく、少しでも有益だと耳にすれば試したくなるのは人情ですね。必ず効く「処方箋」や必ず儲かるうまい話は、滅多にあるものではありません。一人一人の事情に合わせたサービスと謳ってみても、すべてが公定されているは囊中のネズミです。私達、自由なNPOは同じ囊中でも「蝨」にならなければならないですね。情報にしても、実際の活動にしても、小さな発見と積み重ねが利用者さんの利益になりますからね。とは言っても、ノーベル賞も文化勲章も夢の又夢ですかね。呵々。

◇文責 理事長 渡辺隆生 (つくば国際大学講師 社会福祉士)



特定非営利活動法人 まちなか交友館 まどか

〒 300-4231 茨城県つくば市北条51-1
電話 029-867-6117 FAX 029-867-6118
ホームページ <http://www.machinakamadoca.org>
利用条件等はホームページでご確認ください